

第55号

発行：令和4年8月

会員数：175名（3月末現在）

（家族会員=17名、個人会員=158名）

発行責任者：田中 恆（ひさし）

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

会長挨拶

松浦武四郎記念館友の会会長 田中 恆

私は5月8日の総会にて新会長に就任させて頂きました。

新役員は9名と顧問として前会長の飯田秀様にアドバイスを賜り、会を進めて行きたいと思っています。

副会長としていろんな会合、武四郎の発展についての会合等に参加してまいりました。今回会長として今までの経験を活かした活動をしたいと思っています。

会長：田中恆 副会長：松浦壽久 書記：齋藤和子、河村千鶴子
会計：古川巧 友の会だより担当：出口孝次 柴田実、粉川哲夫、
斉藤猛夫、以上9名となり、今後新体制として、進めて参ります。

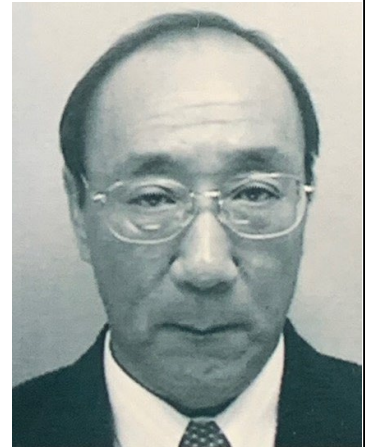
最近の催しについて6月1日～6月30日において三雲振興局（三雲ほっとギャラリー）にて、友の会活動写真展示を開催いたしました。私がいる間にも数人の人が見に来てくれました。

また、松阪偉人顕彰団体 松阪の偉人たち展を7月6日～7月10日の5日間開催致しました。

開催期間中400数人の皆様に見て頂きました。その中でアイヌ民族と武四郎の木彫りに関心がありました。また展示会場に大きな看板（武四郎の等身大写真はありましたが）があれば良いと感じました。

その他の偉人たちの展示会場とも迫力があつたと好評でした。

最後に、来年度の目標としては武四郎と関係がある長崎、平戸と福岡大宰府天満宮への旅をと考えています。



令和4年度の総会(報告会)を実施

5月8日（日）、本年度の総会を報告会として行いました。感染者は少なくなつてはいましたが、コロナ禍ということで、質疑応答をするのは難しいとして、役員から令和3年度の活動報告、会計報告などを行いました。

役員の変更で、これまで大変お世話になってきた飯田秀会長が現役としては年齢的にも難しくなつてきたとして、退任されました。

新会長には、田中恆（ひさし）会長が就任し、新たな体制での出発となりました。



市長からのメッセージを代読される飯田秀前会長

「松浦武四郎記念館の9代目館長になりました」

松浦武四郎記念館 館長 山本 命

この4月から、館長になりました山本です。

私は平成13年4月から、記念館の初代学芸員であった武馬利江さんの後任として、2代目の学芸員に採用され、平成27年から主任学芸員となり、今年の3月末で21年にわたり学芸員として仕事をさせていただきました。

記念館の歴代館長を振り返ってみると、初代の鈴木恒雄さんが平成6年の開館から7年2か月、その後1年ほど館長が不在となる時期がありましたが、2代目を川瀬孜・三雲町教育長に兼務していただきました。

平成17年1月1日に合併により松阪市になると、1月から4月までの3か月間でしたが、3代目を仲村隆彦・松阪市教育委員会事務局次長に兼務していただきました。4代目は高瀬英雄さんに4年（引退後は名誉館長）務めていただき、「松浦武四郎生誕190年等記念事業」を行ったことが懐かしく思い出されます。5代目は中西明さんが1年、6代目は宮本正道さんが2年でした。

7代目は中野恭さんが7年務め、開館20年の記念式典や生誕200年記念事業を行い、松浦武四郎誕生地がオープンしました。

8代目は多賀幸子さんが3年務め、長らく小野江コミュニティセンター長（公民館長）との兼務から、小野江公民館が新たに建設されたことで、博物館専任の館長となり、記念館のリニューアルを行いました。

そして、今年4月から私が9代目の館長となり、4月24日にリニューアルオープン、7月3日で開館から28年を迎えました。

私が学芸員になりたての頃、2か月間だけ一緒に仕事をさせていただいた初代館長の鈴木恒雄さんからは、どんなに小さな博物館であってもどこか小さな光を放つ博物館であってほしい、とお話されていたことは今でも忘れられません。このお言葉を大切にしながら、これからは館長として頑張りたいと思います。



武四郎講座で講演される山本命館長

公民館との併設でスタートした記念館は3人のスタッフ（うち1人は公民館主事）で始まりましたが、現在では館長を含め5人のスタッフとなりました。

事務を担当する田島さんは、私より2か月後に入られましたが21年間務めていただいております。学芸業務を担当する世古さんは6年が経ちました。今年4月からは事務を担当する光山さんと、学芸員の佐藤さんが新たに加わり、さらに充実した博物館活動を行っていききたいと思います。

友の会のみなさまには、これからもますますのご支援を記念館に賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

三雲ほっとギャラリーで活動展示！

令和4年6月1日（水）から6月30日（木）まで、三雲振興局玄関にある三雲ほっとギャラリーにおいて、恒例になった松浦武四郎記念館友の会活動展示をしました。今年は、第2回拓本体験会を行ったので、写真で紹介しました。また、昨年度友の会主催で行った武四郎



拓本体験会

講座の紹介もさせていただきました。ご覧いただけただでしょうか？



友の会コーナー、左右の壁面全部使わせていただきました。来年もよろしくお祈いします。

第8回松阪の偉人たち展を開催！

7月6日（水）から10日（日）まで、文化財センター第2ギャラリーにおいて、恒例の松阪の偉人たち展が開催されました。5日（火）に準備に行き、毎日役員で当番を組みました。最終日には、片付けをするために当番以外の方も行って頂きました。ありがとうございました。

田中会長も挨拶の中で紹介して下さった武四郎とアイヌの案内人を木彫りで表現した銅像は、松阪市の濱口弘之さんの作品だということです。展示しているところを見に来て頂きましたので、写真を撮らせていただきました。木を削って人物像を作る難しさを話してくださいました。この作品の元になったのは、松浦武四郎が蝦夷地を探検していたときのことを記録し、本にした中に描かれている自分の姿なんですよ。



武四郎さんにはさまれて緊張気味の濱口さん



エゾヤマザクラの写真と武四郎さんの業績などを紹介したパネルを展示！！

【記念館からのお知らせ】

☆記念館講座のご案内

8月14日(日)10:00～ テーマ：「伝える達人 松浦武四郎」

講師：山本命

9月11日(日)10:00～ テーマ：「集める達人 松浦武四郎」

講師：山本命

10月 9日(日)10:00～ テーマ：「未定」

11月13日(日)10:00～ テーマ：「未定」

12月11日(日)10:00～ テーマ：「未定」

☆企画展示のご案内

8月 5日(金)～10月2日(日) 「描かれたアイヌの人々」

アイヌの人々の姿を描いた絵を紹介します。

※10月3日(月)～10月6日(木)は展示替えのため休館します

10月 7日(金)～12月4日(日) 「武四郎の詩と歌」

武四郎が詠んだ和歌や漢詩を紹介します。

※12月からの展示は未定です。



松浦武四郎記念館では、今年度からワークショップとして、「武四郎に学ぶ会」を行っています。講座では学べない様々な疑問や解説していない資料などについて、学び合います。皆様の参加を募集していますのでご連絡ください。

武四郎記念館

【友の会よりのお知らせ】

9月12日(月)伊勢方面バスツアーを実施する予定です。

昨年度予定してコロナ禍が続きあきらめざるをえなかったバスツアーですが、下記のように実施したいと考えています。突如、中止という可能性も有り、会員の皆様にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、今年度こそ、実施できることを祈るばかりです。

集合時間 午前8時20分 松浦武四郎記念館

出発時間 午前8時30分 到着午後4時30分頃

行程 御師跡伊勢和紙、足代弘訓邸跡、昼食(駐車場にて)、徴古館、朝熊山金剛証寺、ドライブイン、山田奉行所

参加費は、25人の参加で4000円程度となります。

11月14日(月)には、念願の県外バスツアーを行います。

コロナ禍の中ですが、3年ぶりに県外へ。武四郎さんゆかりの天満宮へ行くバスツアーを計画しています。どうかご参加頂きますようお願いいたします。7月の武四郎講座の日から募集開始しております。記念館へ来ることができない方は、お問い合わせください。

集合時間 7時50分、出発 8時、到着時間は、午後5時30分頃 集合場所は、記念館と中川駅東口です。

行程 藤井寺市にある道明寺天満宮、誉田御廟山古墳、尼崎市にある長洲天満宮

参加費 45人の参加で7500円程度となります。

会費の納入のお願い

令和4年度の年会費を、8月迄に納めていただきますようお願いいたします。もし連絡が無かった場合は、除籍にさせていただきます。

今後、口座振込みをご希望の方は、役員または記念館事務局 0598-56-6847 へお問い合わせください。



次回の発行は、12月の予定です。

